

# 平成19年度事業計画

## 事業概要

財団創立29周年を迎えました弊財団は、「無機材料の研究助成」に特化した公益法人です。応募者数の増加傾向から明らかとなり、研究者の当財団への期待は高く、その社会的使命は重くなっていると考えます。

そこで平成19年度は、国内研究助成を増やし助成事業規模の拡大を図ります。

規定上の実施事項として、平成 18 年度決算から改正経理規定を適用します。これにより新会計基準に則った経理業務を徹底します。

事業資金に関しましては、平成19年度も、前年度と同様に国内の低金利水準が続くと考え、運用収入の確保に努めます。

寄附募集により、一層の財務の安定を図ります。また、多くの方々の賛同を得ていることは、財団の社会貢献が広く認められていることの証でもあり、引き続き寄附募集活動を積極的に行います。

「特定公益増進法人」の資格が、平成 19 年8月に期限満了となりますので、申請手続きを行い速やかに認可が下りよう務めます。

また、新公益法人制度下での「公益財団法人」に、確実に認定されるよう、より確実なガバナンスを徹底します。

具体的な事業活動は以下の通りです。

1. 研究助成事業について、第29回研究助成金の交付、および第30回研究助成の募集
2. 国際学会等への助成
3. 海外渡航研究者への助成
4. 研究成果普及への助成、学術講演会の開催および成果報告書の出版
5. 財団運営体制の整備

## 事業内容

### 1. 研究助成事業

#### (1) 平成19年度(第29回)研究助成事業

前年度に募集選考した候補者に対し、助成金を交付する。

助成規模は総計 67,500 千円と前年度に比べ 4,500 千円増額し、国内の助成件数を3件増やす。即ち国内 61,500 千円(45 件)、海外6,000千円(数件)とする。

国内の研究助成金贈呈式を平成19年4月23日(月)に開催する。

#### (2) 平成20年度(第30回)研究助成事業

平成20年度研究助成応募要領を作成し、候補者を募集する。

助成規模は平成19年度と同程度とする。

### 2. 国際学会への助成事業

平成19年度の国際学術交流に対し助成対象を調査選考し、助成金を交付する。  
平成19年度の規模は1,500千円程度とする。

### 3. 渡航研究者の助成事業

助成希望者に対し選考を行い助成する。  
助成規模は500千円程度とする。

### 4. 成果普及事業

- (1)「成果普及のための助成金」の助成規模は1,000千円程度とする。
- (2)平成16年度助成の成果報告書を出版する。(8月予定)  
平成17年度助成の成果報告書の編集を行う。
- (3)平成16年度助成の成果報告会として、平成20年1月に無機材料に関する学術講演会を企画実施する。

### 5. 財団運営体制の整備

- (1)「特定公益増進法人」の申請を行う。
- (2)一層の事業充実のため寄附金の募集を行う。
- (3)財団の事業に関する、大学、各種研究機関、寄附者および広く一般に対する広報活動を、より充実させる。
- (4)公益法人制度改革に関連した準備を進める。

以上